

さわやかだより

受けましょう！

結核・肺がん検診



肺がん

気管支や肺の細胞ががん化して起こる病気です。

咳、痰、血痰、発熱などをきっかけに発見されることもあります。いずれも肺がんだけにみられる症状ではありません。

がんの部位別死亡数第1位は肺がんです。2019年の日本全体のデータでは年間7万人以上が肺がんを命を落としています。(厚生労働省「2019年人口動態統計」)

肺がんの最大の原因は喫煙です。たばこを吸わない人に比べて吸う人では、肺がんになる危険度が、3～4倍になります。肺がんによる死亡のうち、男性で約7割、女性で約2割は、たばこがなければ起こらなかったと推計されています。また、たばこを吸わない人でも、受動喫煙で肺がんの危険性が上がります。そのため、最大の予防法はたばこを吸わない、他人のたばこの煙を避けることです。「禁煙外来」を利用する他、薬局で買えるニコチンパッチ、ニコチンガムを利用することで禁煙に成功しやすくなります。



結核

結核菌によって主に肺に炎症が起きる病気です。

最初は風邪に似た症状で始まります。2週間以上長引く咳は赤信号です。結核は、今でも1日におよそ40人の新しい患者が発生し、6人が命を落としている、重大な感染症です。

菌を出している結核患者の咳やくしゃみなどのしぶきと一緒に、結核菌が空気中に飛び散り、それを吸いこむことで感染します(空気感染)。

感染しても、全ての人が発病するわけではありません。健康であれば免疫の働きによって結核菌を抑え込めます。健康的な生活が免疫力を高め、結核の予防につながります。また、早く見つけることで重症化を防ぎ、周囲への感染予防にもつながるため、症状がなくても定期的な検診受診が大切です。



結核・肺がん検診のお知らせ

年に1度は胸部X線検査(レントゲン検査)による検診を受けましょう。喫煙指数(1日にたばこを吸う本数×喫煙年数)が600以上のヘビースモーカーの人は、喀痰検査も併せて受診することをおすすめします。

検診でがんや結核の疑いがある場合には、そのまま放置せずに精密検査(病院で受けるより詳しい検査)を受けましょう。早期に発見すれば、体への負担が軽い治療で済む可能性が高くなります。

- 日程 9月20日(火)～9月22日(木)
■会場 町内巡回(検診車が各集会所などを巡回し検診を行います)



- 料金 無料
■対象 19歳以上の町民
※ただし、今年度すでに肺がん検診を受診している人は除く。
■申込み 事前予約制(詳しくは8月の各戸配布チラシか健康福祉センターまで問い合わせください。)

申込み・問合せ 健康福祉センターさわやか(☎ 76-4006)